

平成22年6月期 第1四半期決算短信

Phoenix

平成21年11月13日

会社名 株式会社 武井工業所
 コード番号 5286
 (URL <http://www.takei21.co.jp>)

上場取引所等 フェニックス銘柄
 本社所在都道府県 茨城県

代表者 役職名 代表取締役社長
 氏名 武井 厚
 問い合わせ先 責任者役職名 常務取締役管理本部長
 氏名 大内 哲朗

TEL (0299) 24-5216
 (百万円未満切捨て)

1. 平成22年6月期第1四半期の業績 (平成21年7月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第1四半期	986	(4.8)	14	(-)	△6	(-)
21年6月期第1四半期	942	(12.0)	△44	(-)	△68	(-)

	当期純利益		1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後1株 当たり当期純利益		自己資本 当期純利益率		総資産 経常利益率		売上高 経常利益率	
	百万円	%	円	銭	円	銭	%	%	%	%		
22年6月期第1四半期	△7	(-)	△2	12	-	-	△0.8	△0.2	△0.7			
21年6月期第1四半期	△62	(-)	△17	55	-	-	△7.1	△1.4	△7.2			

- (注) 1. 持分法投資損益 22年6月期第1四半期 - 百万円 21年6月期第1四半期 - 百万円
 2. 期中平均株式数 22年6月期第1四半期 3,536,656 株 21年6月期第1四半期 3,537,938 株
 3. 会計処理の方法の変更 有 (無)
 4. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
22年6月期第1四半期	4,440	932	21.0	263	60			
21年6月期第1四半期	4,679	844	18.1	238	82			

- (注) 1. 期末発行済株式数 22年6月期第1四半期 3,542,000 株 21年6月期第1四半期 3,542,000 株
 2. 期末自己株式数 22年6月期第1四半期 5,344 株 21年6月期第1四半期 4,062 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円		
22年6月期第1四半期	176	13	△89	169				
21年6月期第1四半期	22	△43	△93	132				

2. 平成22年6月期の業績予想 (平成21年7月1日～平成22年6月30日)

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円		
中間期	2,280	2	0			
通期	5,200	130	120			

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) 33円88銭

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

3.その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
- ② ①以外の変更 : 無
- 〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年6月期第1四半期	3,542,000 株	21年6月期	3,542,000 株
② 期末自己株式数	22年6月期第1四半期	5,344 株	21年6月期	5,344 株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年6月期第1四半期	3,536,656 株	21年6月期第1四半期	3,537,938 株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、景気に持ち直しの兆しが若干見られましたが、企業収益の大幅な減少に伴い個人消費の低迷が続くなど、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

当社の属する建設業界におきましても、政府の経済対策効果や地方自治体による前倒しの発注効果はあったものの、公共建設投資は依然として縮減傾向で推移したことに加え、民間建設投資も企業業績の悪化に伴い大幅に減少するなど、厳しい経営環境が続きました。

このような経営環境のなか当社は、前述の経済対策や前倒し発注による公共工事向け資材納入が順調に推移したことや、空港や高速道路など、大型プロジェクト工事などへの資材納入が本格化したこともあり、その結果、当第1四半期累計期間の売上高は9億8千6百万円(前年同期比4.8%増)、となりました。収益面では、付加価値の高い特注製品の販売があったことや、固定費の更なる圧縮に努めたことにより、営業利益は1千4百万円(前年同期は4千4百万円の営業損失)、経常損失6百万円(前年同期は6千8百万円の経常損失)、四半期純損失7百万円(前年同期は6千2百万円の四半期純損失)となりました。

なお、品種別の売上高は下記のとおりであります。

区分	品目	前第1四半期累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月31日)		当第1四半期累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月31日)	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
製品	道路用製品	176,996	18.8	181,548	18.4
	水路用製品	366,272	38.9	377,393	38.2
	擁壁・土止め用製品	82,988	8.8	78,487	8.0
	法面保護用製品	16,117	1.7	38,407	3.9
	その他	23,025	2.4	60,278	6.1
	小計	665,400	70.6	736,116	74.6
商品	コンクリート二次製品	229,197	24.3	215,401	21.8
	その他	47,516	5.0	35,416	3.6
	小計	276,714	29.4	250,818	25.4
	合計	942,114	100.0	986,934	100.0

2. 財政状態に関する定性的情報

(1)資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前会計年度末と比較して、2千9百万円減少し、44億4千万円となりました。これは主に、「現金及び預金」が9千7百万円増加したものの、売上債権の回収に伴い、「売掛金」「受取手形」が1億6百万円減少したこと及び定期預金解約による「長期性預金」が2千1百万円等減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前会計年度末と比較して、1千3百万円減少し、35億8百万円となりました。これは主に、仕入債務の増加による「買掛金」「未払金」が2千5百万円及び、「賞与引当金」の計上3千万円等が増加しましたが、「短期借入金」「1年内返済予定の長期借入金」が3千2百万円及び、「長期借入金」が5千1百万円返済したことにより、有利子負債が8千4百万円等減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前会計年度末と比較して、1千5百万円減少し、9億3千2百万円となりました。これは主に、繰越利益剰余金が1千4百万円等減少したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローの増加1億7千6百万円、投資活動によるキャッシュ・フローの増加1千3百万円及び財務活動によるキャッシュ・フローの減少8千9百万円により、前会計年度末に比べ1億円増加し、当第1四半期末残高は1億6千9百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間末における営業活動の結果得られた資金は、1億7千6百万円(前年同四半期は2千2百万円の増加)となりました。この主な増加要因は、減価償却費3千万円に加え、売上債権の減少1億3千7百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間末における投資活動の結果得られた資金は、1千3百万円(前年同四半期は4千3百万円の減少)となりました。これは有形固定資産の取得による支出1千万円等があったものの、定期預金解約による収入2千4百万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間末における財務活動の結果使用した資金は、8千9百万円(前年同四半期は9千3百万円の減少)となりました。これは、短期借入金の純減少額2千4百万円、長期借入金の返済による支出5千9百万円等によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期における業績はほぼ計画どおり推移しており、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき予想した結果、平成21年8月12日付の「平成21年6月期 決算短信」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法に関しては、前会計年度決算において使用した貸倒実績率によって算定しております。

(3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前会計年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	178,503	81,412
受取手形	161,795	294,503
売掛金	660,849	634,543
商品及び製品	744,685	733,911
原材料及び貯蔵品	92,966	96,676
前払費用	16,509	18,065
その他	3,143	5,073
貸倒引当金	△ 28,971	△ 33,090
流動資産合計	1,829,483	1,831,096
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	405,419	412,701
構築物(純額)	191,608	198,339
機械及び装置(純額)	144,794	149,592
車輛運搬具(純額)	456	463
工具、器具及び備品(純額)	92,713	91,344
土地	1,646,881	1,646,881
リース資産(純額)	40,796	28,545
有形固定資産合計	2,522,669	2,527,868
無形固定資産	5,216	5,476
投資その他の資産	83,299	105,619
固定資産合計	2,611,185	2,638,964
資産合計	4,440,668	4,470,061

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前会計年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	233,538	225,619
短期借入金	1,455,010	1,480,000
1年以内に返済予定の長期借入金	447,288	454,888
リース債務	10,924	7,799
未払金	217,399	199,347
未払法人税等	2,617	5,791
未払消費税等	10,408	5,234
賞与引当金	49,066	18,322
未払配当金	2,818	—
その他	2,019	9,563
流動負債合計	2,431,089	2,406,566
固定負債		
長期借入金	944,270	996,092
リース債務	32,722	22,172
退職給付引当金	100,157	96,717
繰延税金負債	170	779
固定負債合計	1,077,319	1,115,761
負債合計	3,508,409	3,522,328
純資産の部		
株主資本		
資本金	522,323	522,323
資本剰余金	389,632	389,632
利益剰余金	21,165	35,739
自己株式	△ 1,112	△ 1,112
株主資本合計	932,008	946,582
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	251	1,150
純資産合計	932,259	947,732
負債純資産合計	4,440,668	4,470,061

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	942,114	986,934
売上原価	723,499	714,397
売上総利益	218,615	272,536
販売費及び一般管理費	263,273	257,682
営業利益又は営業損失 (△)	△ 44,657	14,854
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	224	54
その他営業外収益	3,262	1,420
営業外収益合計	3,487	1,474
営業外費用		
支払利息割引料	26,783	21,328
その他営業外費用	287	1,979
営業外費用合計	27,071	23,308
経常損失	68,241	6,979
特別利益		
固定資産売却益	6,658	—
特別利益合計	6,658	—
税引前四半期純損失	61,583	6,979
法人税、住民税及び事業税	491	521
法人税等合計	491	521
四半期純損失	62,075	7,500

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	△ 61,583	△ 6,979
減価償却費	35,430	30,979
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△ 12,117	△ 6,415
賞与引当金の増減額 (△は減少)	29,650	30,744
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△ 1,199	3,440
受取利息及び受取配当金	△ 224	△ 54
支払利息・社債利息	26,228	20,433
有形固定資産の売却損益 (△は益)	△ 6,658	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	287	—
売上債権の増減額 (△は増加)	102,181	137,093
割引手形の増減額 (△は減少)	△ 30,282	△ 28,395
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△ 74,100	△ 7,064
仕入債務の増減額 (△は減少)	48,976	7,918
その他資産・負債の増減額	△ 29,332	10,931
小計	27,254	192,632
利息及び配当金の受取額	224	54
利息の支払額	△ 3,367	△ 14,008
法人税等の支払額	△ 2,009	△ 1,958
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,102	176,720
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券売却による収入	1,984	—
投資有価証券の取得による支出	△ 58	△ 121
有形固定資産の売却による収入	1,000	—
有形固定資産の取得による支出	△ 36,003	△ 10,426
定期預金の増減額 (△は増加)	△ 12,000	24,000
貸付金の回収による収入	2,100	—
その他投資の増減額	△ 277	△ 208
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 43,255	13,243
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△ 24,990	△ 24,990
長期借入金の返済による支出	△ 68,572	△ 59,422
リース債務の返済による支出	—	△ 1,205
配当金の支払額	—	△ 4,254
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 93,562	△ 89,872
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 114,715	100,091
現金及び現金同等物の期首残高	247,485	69,412
現金及び現金同等物の四半期残高	132,770	169,503

- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
当第1四半期累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
該当事項はありません。